

## 先週のマーケット動向(8月11日~8月14日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,389.1	1,393.0	1,378.3	1,382.0	▲7.6
JPY/KRW	9.4081	9.4569	9.3394	9.4512	+0.023
KOSPI	3,220.72	3,242.17	3,189.58	3,225.66	+15.65

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。週初ドル/ウォンは1,389.1ウォンでオープン。米中一部関税の猶予期限、米CPI、米露首脳会談等イベントを控える中、揉み合い推移。様子見—ムード強く小動きとなった。米中関税猶予は90日の延長が発表されたものの、相場影響は限定的。12日にはCPIへの警戒から一時1,393.0ウォンに上昇するも、買い一服後は方向感乏しい推移となった。その後夜間に米CPIが発表されるも、概ね予想の範囲内の内容だったことで、過度なインフレ懸念が後退。翌13日にドル/ウォンは1,380ウォン台前半まで下落した。14日にはベッセント米財務長官が大幅利下げをサポートする発言を行ったことで米金利が低下。ドル/ウォンは一時1,380ウォンを下回り推移するも、連休を控え値幅は限定的。結局、前週末比▲7.6ウォンの1,382.0ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

## 今週の見通し

今週のドル/ウォン相場はレンジ推移か。先週発表されたPPIやインフレ期待を受けて利下げ織り込みは後退しており、今週21日~23日の予定で開催されるジャクソンホール会合でのパウエルFRB議長発言と金融政策の見通しに対する注目が高まっている。また、18日に控える米ウ首脳会談も地政学動向を占う上で重要視されよう。韓国国内要因が為替相場に与える影響は引き続き限定的と見られる。ドル/ウォンは引き続き1,300ウォン台後半でややボラタイルな推移が継続しよう。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1370 ~ 1400	9.30 ~ 9.50	146.0 ~ 149.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

## \* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



## \* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



## 今後の予定

- 19日(火) 米 7月 住宅着件数
- 20日(水) 日 6月 機械受注
- 欧 7月 CPI 確報値
- 日 7月 貿易統計
- 米 FOMC議事録
- 21日(木) 欧 8月 製造業PMI 速報値
- 米 8月 製造業PMI 速報値
- 米 8月 サービス業PMI 速報値
- 欧 8月 サービス業PMI 速報値
- 欧 8月 消費者信頼感指数 速報値
- 米 7月 中古住宅販売件数
- 22日(金) 日 7月 CPI